

## 報告事項才

企画展「新収蔵品展 - 歴史系学芸員のオススメ100選 - 」の開催について

企画展「新収蔵品展 - 歴史系学芸員のオススメ100選 - 」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成22年1月14日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

## 企画展「新収蔵品展－歴史系学芸員のオススメ100選－」の開催について

1	展覧会名	新収蔵品展－歴史系学芸員のオススメ100選－
2	会期	平成22年1月16日(土)～2月14日(日) 休館日：1月25日(月)
3	会場	鳥取県立博物館 第1特別展示室
4	主催	鳥取県立博物館
5	協賛	株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社モリックスジャパン
6	観覧料	一般400円(前売/団体200円)
7	概要	平成以降に、博物館が新たに収蔵した考古・歴史・民俗部門資料をお披露目する展覧会。展覧会を通じて、鳥取の歴史・文化を楽しめる逸品から珍品までを、厳選して紹介する。

### 1 主な展示資料

#### ①歴史資料(絵画・書・写真)

鳥取藩大名行列図巻あきひめ旭あさひ姫(豊臣秀吉の妹)肖像画、『古今童謡』(日本最古の童歌集)、松葉ガニ最古の文献、三木露風直筆詩「母への献詞」、鳥取市内映画館チラシなど49点

「松葉ガニ最古の文献」は、天明2年(1782)頃に藩の祐筆の山田左平太が記した藩の公文書の控えで、津山藩主松平康哉に松葉ガニを贈ったことが記される。これまで最古とされた鳥取藩の『目付日記』に記された弘化2年(1845)を60年以上さかのぼる。初公開。

#### ②歴史資料(武具・染織品)

池田吉泰(鳥取藩主)甲冑、北垣国道旧蔵刀(銘：出羽大掾藤原国路)、かみしも袴など14点

「北垣国道旧蔵刀」は、旧鳥取藩士で京都府知事などを歴任した男爵北垣国道が武徳会鳥取支部に寄附したもの。戦前までは、鳥取県剣道大演武会の中学校団体試合の優勝刀に使用された。初公開。

#### ③民俗資料

倉吉の郷土玩具(土天どろてんじん神など)、装身具コレクション、カメラコレクションなど18点

「土天神」は、男子の初節句(生まれて初めて迎える桃の節句)に、母方の里から贈られる土製の天神人形。県中西部で昭和30年代まで行われた習俗。

#### ④考古資料

子持勾玉まわゆま、経塚出土品(鳥取市)など9点

「子持勾玉」は、子孫繁栄や豊作などを祈る、まつりの道具と考えられる。鳥取県内では、これまでに14個(12か所)の「子持勾玉」の出土が知られるが、当館ではそのうち7個を所蔵。

#### ⑤珍品・その他

へその緒、産髪、娩石はらみいし(安産之護)、余部鉄橋の廃材など10点

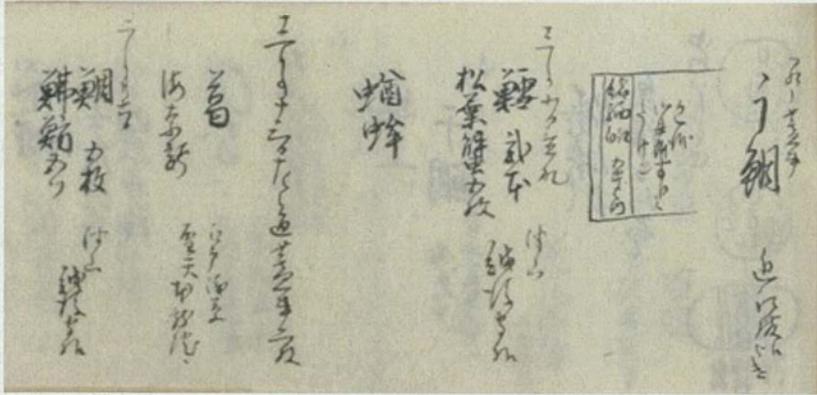
「娩石」は安産のお護(守)りとされる霊石で、浦富城主より拝領したと伝えられる。初公開。

### 2. 関連事業

開催日	名 称	講 師
1月30日(土)	歴史講座「日本刀を楽しむ～刀研ぎと鞘づくりをみてみよう～」	森井偲訓(財団法人日本刀文化振興協会評議員)、森井鐵太郎(刀剣研師)、森井敦央(刀剣鞘師)
2月7日(日)	講演会「鳥取県立博物館のコレクションについて－民俗資料を中心に－」	野地恒有(愛知教育大学教授)
2月11日(木)	歴史講座「古文書の修復を体験しよう」	当館職員
1月17日(日)	講演会「明治・大正の鳥取－新収蔵品資料より－」	当館学芸員
1月24日(日)	講演会「新収蔵資料からみた鳥取藩土の実像」	
1月31日(日)	講演会「鳥取藩の武家屋敷－新収蔵品資料より－」	
会期中の土曜日	ギャラリートーク	当館学芸員

〈参考〉資料画像

① 松葉ガニ最古の記録



② 北垣国道旧蔵刀



③ 土天神  
どろてんじん



④ 子持勾玉



⑤ 石 (安産之護)  
はらみいし

